

健康調査にご協力ください

調査にご協力頂いた方、省エネ改修のためのリフォーム工事に補助金をご提供！

●健康調査事業

■募集 定員になり次第締め切り

■募集要件

- ・概ね10年以上(*)今の住居にお住まいのご家族
(同一世帯で調査の承諾が得られる方2名程度)
- ・20歳以上で以下の調査項目ご協力いただける方
- ・※省エネルギー改修とセットの調査の場合はお住まいの期間が10年未満でも可

■調査協力期間 (各回2週間)

- 1回目調査 H26年11月中旬～H27年3月中旬
- 2回目調査 H27年11月中旬～H28年3月中旬
- 3回目調査 H28年11月中旬～H29年3月中旬
- ・ご協力いただいた方には謝金：1万円/人・回

■調査項目

- ①特定健康診査等の受診データ
- ②温湿度(居間・寝室・トイレ)
- ③家庭血圧(就寝前、起床直後)
- ④身体活動量
- ⑤居住者向けアンケート

※調査は一般社団法人日本サステナブル建築協会(JSBC)が行います



■リフォーム工事モデル事業

●補助額

- ・補助率 対象工事額の1/2
- ・補助額上限 100万円/戸
(省エネ改修と併せて行うバリアフリー工事がある場合は上限120万円/戸)

●補助要件

- ・日常生活に必要な住生活空間における省エネルギー改修工事を行い、一定基準以上の省エネルギー性能とすること。
- ・改修前後の健康調査への協力(左記参照)

※一定基準以上の省エネルギー性能とは、平成26年度長期優良住宅化リフォーム推進事業【評価基準型】に定める省エネルギー対策のA基準以上とします。改修前からA基準以上に適合している住宅は対象になりません。

●対象者

- ・健康調査の該当者であること
- ・H27年3月までに1回目の健康調査に協力いただき、その後上記補助条件を満たす改修工事契約ができる方。



H26年度 H26年冬期 第1回目健康調査 → H27年契約・リフォーム工事 → H27年冬期 第2回目健康調査

H27年度 H27年冬期 第1回目健康調査 → H28年契約・リフォーム工事 → H28年冬期 第2回目健康調査

H28年度 H28年冬期 第1回目健康調査 → H29年契約・リフォーム工事 → H29年冬期 第2回目健康調査

催事報告

スマートウェルネス住宅の未来を考える

健康・省エネ シンポジウム in さっぽろ

2014.10.24(金)東京ドームホテル 札幌

主催：(一社)健康・省エネ住宅を推進する国民会議

共催：健康・省エネ住宅推進北海道協議会

後援：北海道



紅葉が美しい大通り公園に面したホテルで、(一社)健康・省エネ住宅を推進する国民会議が主催する「健康・省エネシンポジウム in さっぽろ」が10月24日開催されました。会場には全道から集まった健康・省エネ住宅推進北海道協議会の会員社員を始め、住宅事業者関係者が会場を埋め、国民会議理事長の上原氏、基調講演の吉村先生、伊香賀先生のお話を聞きました。その後、北海道建設部の須田局長など6名のパネリストによる多角的なディスカッションがあり、貴重な情報入手の場となり、盛会裏のうちに終了しました。

何にご興味を持たれましたか？チェック☑を入れてください 健康調査 リフォーム補助金 シンポジウム その他

※詳細はお気軽にお問い合わせください

健康・省エネ住宅推進北海道協議会 事務局

〒003-0023 札幌市白石区南郷通19丁目北1-31 豊川ビル 2F (株)エクセルシャノン内

TEL 011-863-8511 FAX 011-863-8431 Mail: tamotsu-fukuya@tokuyama.co.jp

家の中の寒さが、健康リスクかもしれません。



21°C
健康的な温度

16°C
呼吸器障害、心疾患等
深刻なリスクが現れる温度

10°C
高齢者に低体温症が
現れる温度

※上記の温度は英国で開発されたHHSRS(住宅の健康安全性評価システム)による室内温度の評価基準。英国ではこの基準により住宅に健康と安全性の点で深刻な危険要因が見つかった場合は、適切な処置を行うことが求められます。

元気で長生きするためには、生活習慣病の予防にくわえ、住まいの温度を適切に保つ環境が大切です。

現在、我が国は平均寿命の伸びにより医療費や介護費が年々増大し、国家財政を圧迫しています。私たちは医学関係者と住宅建築の専門家が「住まいと健康について」医学的に明らかにして、理想のスマートウェルネス住宅を推進しています。

私たちはみなさまが自宅で元気に暮らしていける社会、健康リスクのない住まいを広めたいと考え、調査・研究、啓蒙普及活動をしています。



あなたの家は ? °C ですか



国土交通省/スマートウェルネス住宅等推進事業(調査事業)

健康調査にご協力ください

リフォーム工事に補助金(工事額の半額)をご提供いたします！ 裏面参照

Q リフォームでも暖かい家にできますか？



省エネリフォームと一緒に
バリアフリー工事も
おすすめします。

●中古住宅でトイレや浴室、
脱衣所が寒いのですが
解決策はありますか？。



●寝室が寒くて眠れない夜
もあり、布団から出られ
ません：何かいい方法があ
りますか？。



冬季の浴室での死亡
事故は年間1万人以
上(推定)で交通事故の
2倍以上です！

●廊下に出た時、
部屋や浴室と
の温度差があ
り、寒くて風
邪をひきそう
なのですが？。



●台所の床が寒くて冷え性の
私は家事が辛いのですが？



●リビングの暖房にむらがあり、窓際が特に寒いのですが……？。

●北側の部屋は寒くて冬は使えないのですが……？。

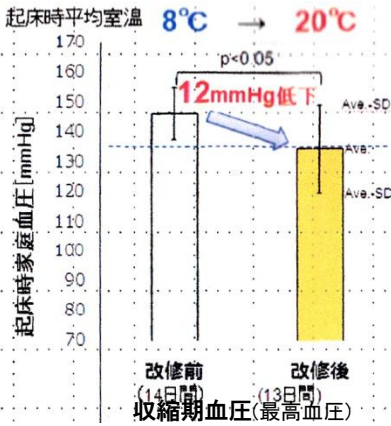
●アルミサッシからすきま風が入ってくるので
テープを貼っています。

●冬になると結露がひどく窓には水滴が溜
まり壁紙にしみができます。



健康調査にご協力ください。調査にご協力頂いた方には、省エネ改修のための

■省エネルギー改修によって
起床時家庭血圧が低下した例



※こうち健康・省エネ住宅推進協議会と慶應義塾大学伊香賀研究室による共同調査より

冬の暮らしに寒さを感じる方に
省エネルギーフォームは
おすすめです。



A改修でできます！

断熱材や断熱窓で家全体を保温するの
が一番良い方法です。また、最新の暖房設備とセットで
保温性を高めれば暖房費も大幅に削減できますヨ。



家じゅうが暖かいと快適、
安心です。

- 極端に寒い部屋がなくなり、家事が楽になりました。
- 夜トイレに起きるのもおっくではなくなりました。
- 朝の冷え込みも和らぎ、起きるのも楽になりました。
- 浴室、脱衣所、トイレ、廊下も冷え込み難く、寒さによる血圧上昇リスクを抑えます。
- 寒さが原因でおっくうというおっくくなりの活動的になります。



断熱性を高めた暖かい家は、
ここが違う！

- 同じ暖房でも暖かく感じます
断熱した壁・床・天井・窓は暖房の熱で温まりやすくヒンヤリ感が低減します。
- 結露が生じ難くなります
断熱した部分が冷え難くなるからです。アシルゲンとなるカビ・ダニの繁殖を抑えます。
- すきま風が少なくなります
断熱工事と合わせて気密性を高めることができ、ほこりも入りにくくなります。



※家全体ではなく、1階のリビングや寝室、浴室、キッチン、ダイニングをまとめて暖かい空間にする方法もあり、ご相談ください。

※暖かい家にするためには、断熱建材を使うこと、省エネ性能が高い暖房機器を使うことが必要です。気密性も高くなるので換気設備も計画しましょう。

